
令和4年度事業報告

移動実態調査について

(六実・六高台地区、幸田地区)

令和5年8月3日
松戸市 街づくり部 交通政策課

六実・六高台地区の移動に関する実態調査概要

<調査目的>

市が抽出した公共交通空白地域・不便地域である六高台地区において、この地域を運行する民間バス路線がダイヤ改正による運行ルートの改編を行ったことにより、地域の移動環境に変化がみられたことから、地域の方の路線バス再編後の移動に関する実態とニーズを把握するため、当調査を実施。

<調査期間>

令和4年7月29日（金）～8月12日（金）

<対象地域>

交通空白地域・交通不便地域に 20%以上 の面積が重複する町字及び六実2丁目

<調査対象>

令和4年3月末日現在の住民登録人口から町字ごとの対象人数を算出し、対象の町字から 15歳以上 の 1,500人 (日本人住民のみ) を無作為に抽出

<回答数及び回答率>

- ・回答数：684（うち郵送回答：556、WEB回答：128）
- ・回答率：45.6%（郵送：81.3%、WEB：18.7%）
- ・年齢別回答状況

年齢階層	配布数	回答数	回答率
15～19歳	78	27	35%
20～29歳	170	45	26%
30～39歳	149	52	35%
40～49歳	195	56	29%
50～59歳	282	123	44%
60～64歳	125	64	51%
65歳以上	501	305	61%
未回答・不明	-	12	-
合計	1,500	684	45%

※居住地別回答状況は調査結果（概要版）を参照

回答の傾向

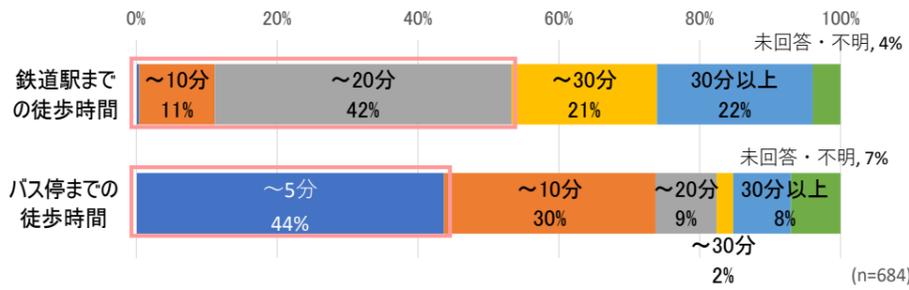
◆ 居住地別回答状況

・調査票を配布したほとんどの町字で回答率が30%以上

居住地	回答率	居住地	回答率	居住地	回答率
五香7丁目	29%	六高台3丁目	30%	六高台西	50%
五香8丁目	31%	六高台4丁目	35%	六実1丁目	32%
五香六実	10%	六高台5丁目	32%	六実2丁目	58%
高柳	0%	六高台6丁目	38%	六実7丁目	42%
高柳新田	37%	六高台7丁目	31%	未回答・不明	-
六高台1丁目	35%	六高台8丁目	33%	合計	45%
六高台2丁目	39%	六高台9丁目	39%		

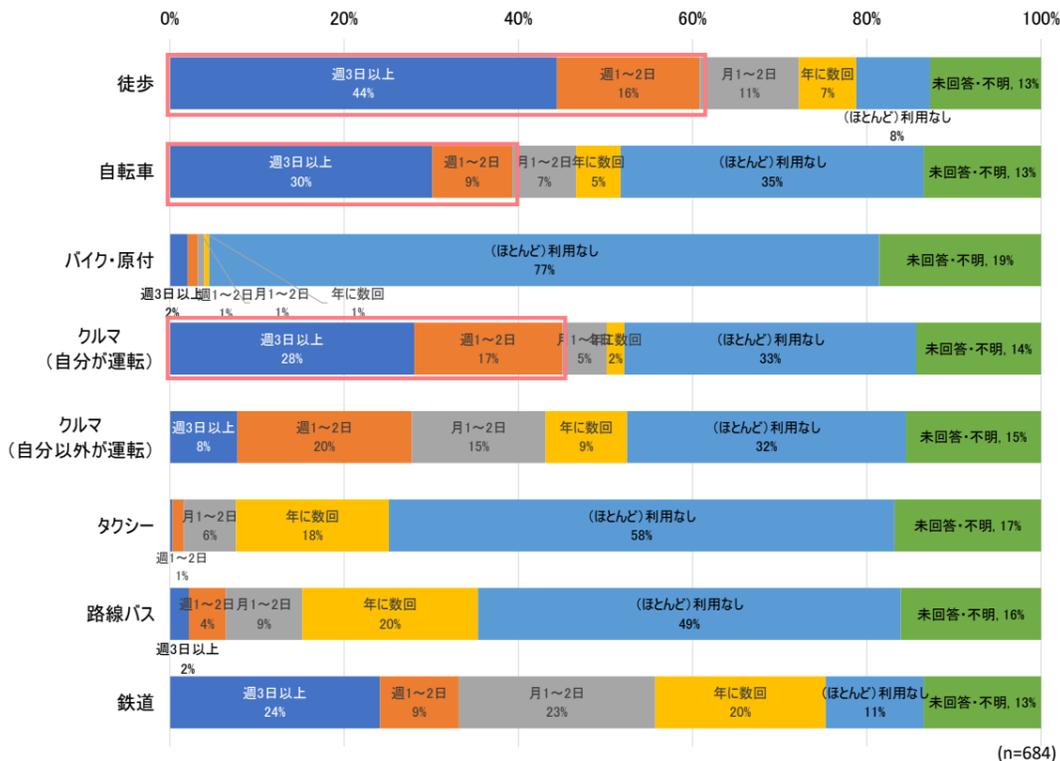
◆ 鉄道駅・バス停まで徒歩で無理なく移動できる時間

・鉄道駅まで約20分以内が約50%、バス停まで5分以内が約40%



◆ 交通手段ごとの利用頻度

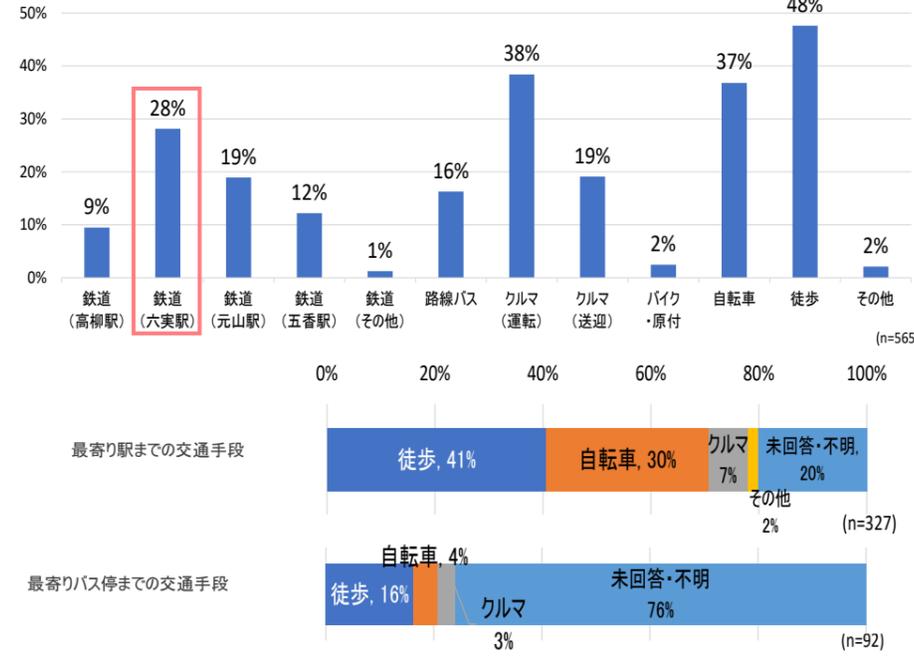
・徒歩が最も多く約70%、次にクルマが約50%、鉄道が約40%
 ・週1回以上利用する交通手段でも徒歩が最も多く約60%、次にクルマ（自分が運転）が約45%であったが、全体の利用が少なかった自転車が週1回以上では約40%と高い
 ・公共交通の週1回以上の利用は、鉄道が最も多く約35%、次に路線バスが約5%、タクシーについては1%程度



普段の外出の傾向

◆ 目的地までの交通手段

・利用する鉄道駅は東武鉄道六実駅が約30%と最も多く、徒歩や自転車で駅に行く傾向が強い。

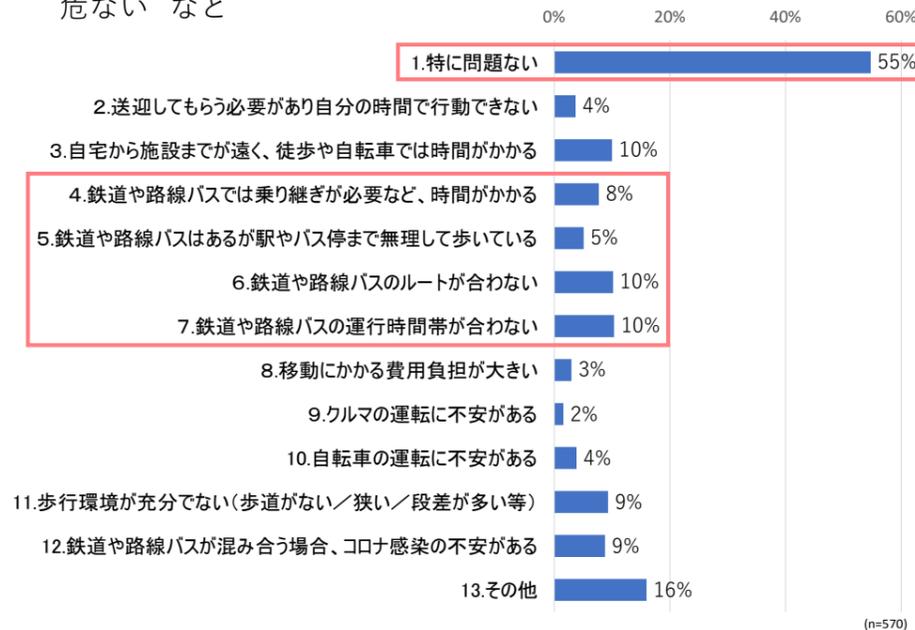


◆ 移動時の問題点

・50%以上の人が現状での普段の外出に問題はないと回答
 ・外出に問題があると回答した人のうち約40%の人が、鉄道・バスのルートや時間が合わないなど、公共交通に関する問題点を挙げた

<具体的な意見>

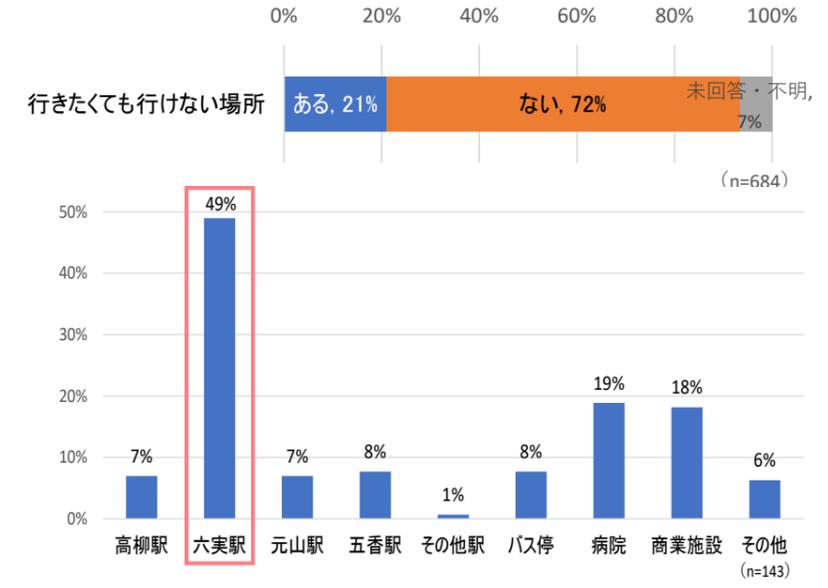
六実駅までバスがない、バスの本数が少ない、道路が狭い・危ない など



外出意向の傾向

◆ 六実・六高台周辺で、行きたくても行けない場所の有無

・約20%の人が行きたくても行けない場所があると回答
 ・行けない場所があると回答した人のうち、六実駅に行きたい意見が約50%

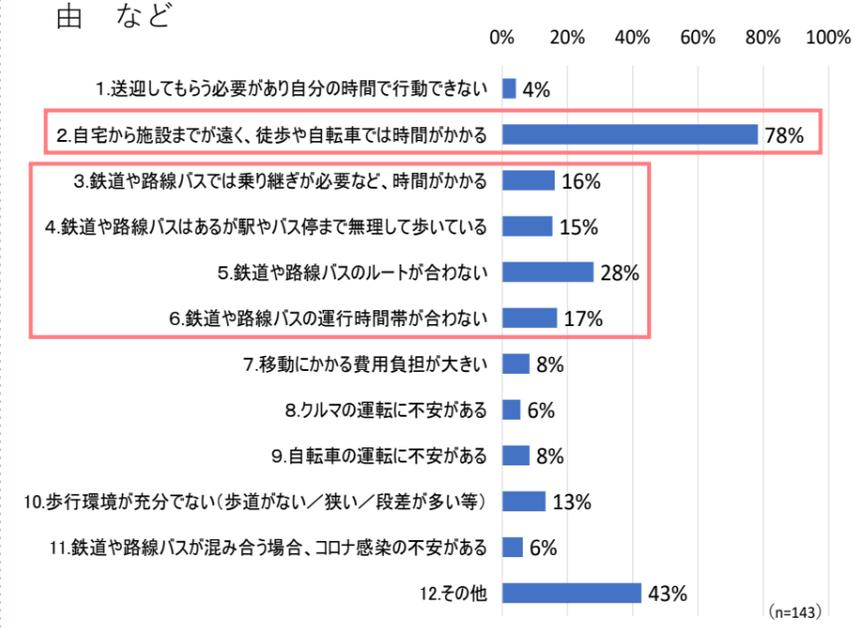


◆ 移動時の問題点

・行けない場所があると回答した人の問題点は、徒歩や自転車では時間がかかるが多かった。また70%以上の人が、鉄道・バスのルートや時間が合わないなど、公共交通に関する問題点を挙げた

<具体的な意見>

六実駅までのバスがない、免許を返納した、外出が不自由 など



幸田地区の移動に関する実態調査概要

<調査目的>

市が抽出した公共交通空白地域・不便地域である幸田地区においては、既存路線バスの減便、坂路及び狭小道路が多いなどの要因により、同じ地区内でも移動ニーズが混在する地域であると思われることから、地域の移動に関するニーズを把握するため実施。

<調査期間>

令和4年12月9日（金）～12月25日（金）

<対象地域>

交通空白地域・交通不便地域に20%以上の面積が重複する町字

<調査対象>

令和4年8月末日現在の住民登録人口から町字ごとの対象人数を算出し、対象の町字から15歳以上の1,500人（日本人住民のみ）を無作為に抽出

<回答数及び回答率>

- ・回答数：743（うち郵送回答：619、WEB回答：124）
- ・回答率：49.4%（郵送：83.3%、WEB：16.7%）
- ・年齢別回答状況

年齢階層	配布数	回答数	回答率
15～19歳	72	28	39%
20～29歳	167	55	33%
30～39歳	176	63	36%
40～49歳	227	81	36%
50～59歳	257	109	42%
60～64歳	82	55	67%
65歳以上	519	337	65%
未回答・不明	-	15	2%
合計	1,500	743	49%

※居住地別回答状況は調査結果（概要版）を参照

幸田地区の移動に関する実態調査結果（概要版）

回答の傾向

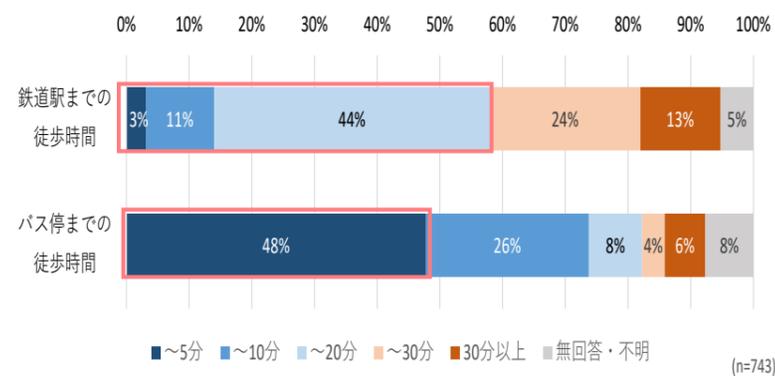
◆ 居住地別回答状況

・幸田1～5丁目が約30%、中金杉1～5丁目、平賀が約25%を占める

居住地	回答者数	構成比	居住地	回答者数	構成比
幸田1丁目	47	6%	中金杉2丁目	33	4%
幸田2丁目	32	4%	中金杉3丁目	22	3%
幸田3丁目	43	6%	中金杉4丁目	18	2%
幸田4丁目	28	4%	中金杉5丁目	37	5%
幸田5丁目	79	11%	平賀	173	23%
中金杉1丁目	67	9%	未回答・不明	164	22%

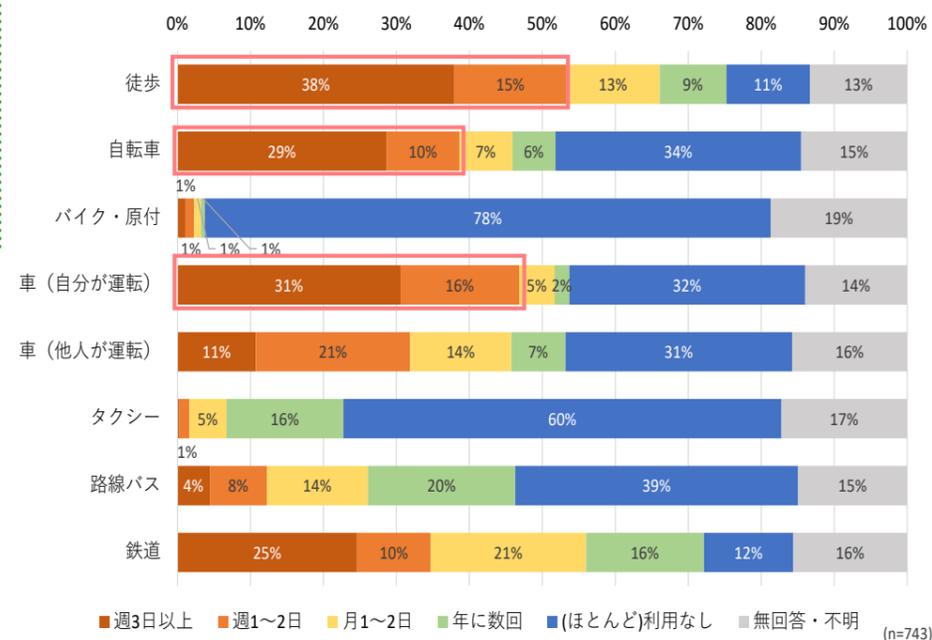
◆ 鉄道駅・バス停まで徒歩で無理なく移動できる時間

・鉄道駅は20分以内が約60%、バス停は5分以内が約50%



◆ 交通手段ごとの利用頻度

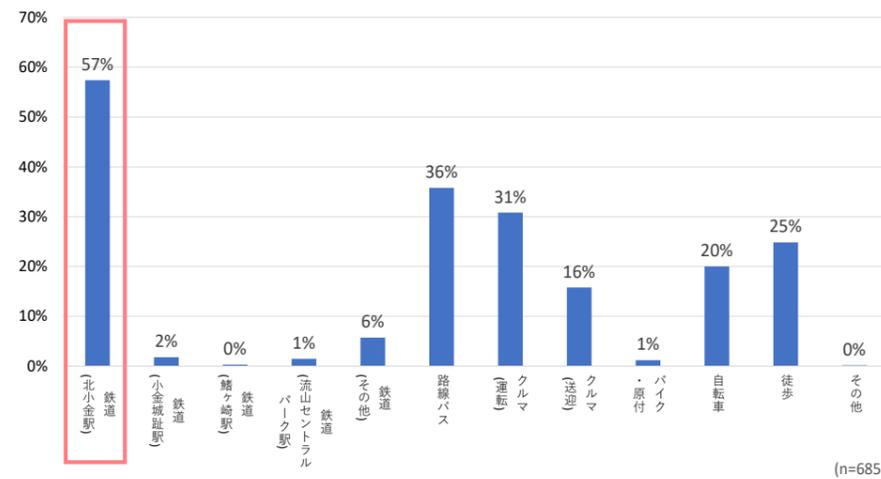
・週1回以上利用する交通手段は、徒歩・自分が運転するクルマが約50%、次に自転車が約40%と多い



普段の外出の傾向

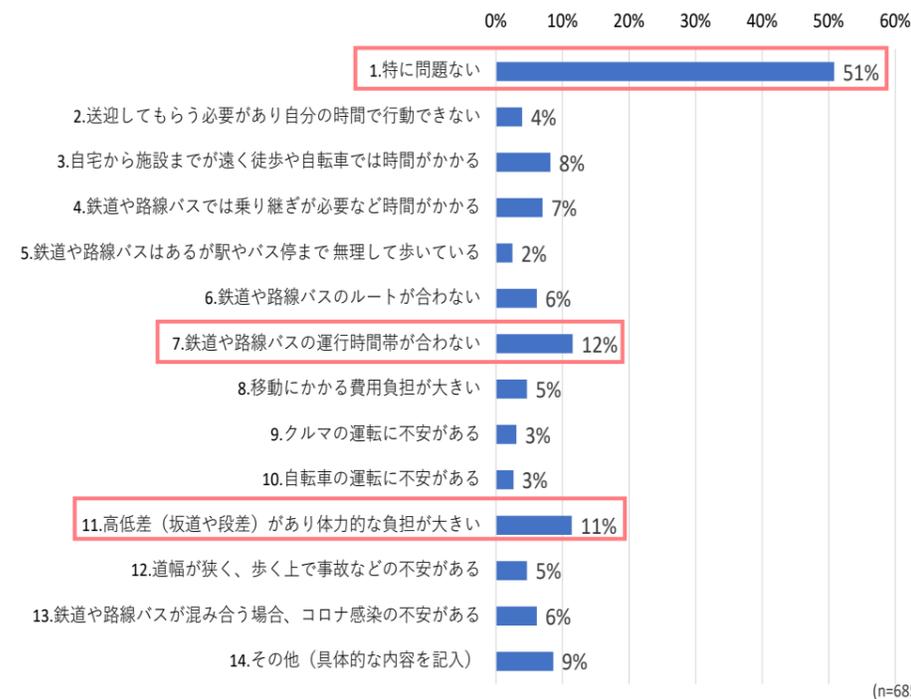
◆ 目的地までの交通手段

・最も頻度が高い外出の手段は、鉄道(北小金駅)が約60%と最も多く、次に路線バスが約40%、自分で運転するクルマが30%



◆ 移動時の問題点

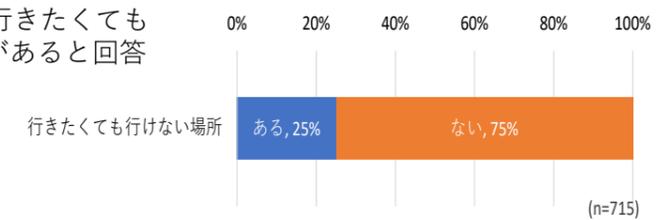
・約50%の人が普段の外出に問題ないと回答
 ・一方で、問題だと感じている内容については、鉄道・バスの時間が合わない、高低差があり体力的な負担が大きいという意見が各10%以上
 <具体的な意見> 徒歩や自転車で時間がかかる、鉄道・バスのルートが合わない、感染不安、運転・駐車環境が悪い など



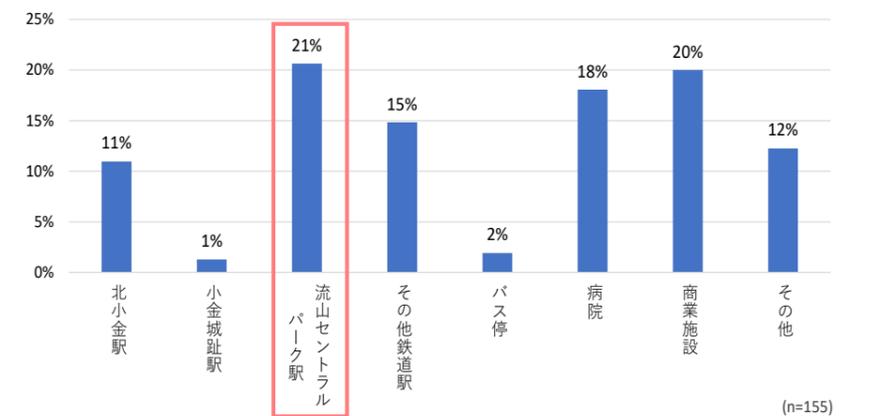
外出意向の傾向

◆ 幸田周辺で、行きたくても行けない場所の有無

・約25%の人が行きたくても行けない場所があると回答

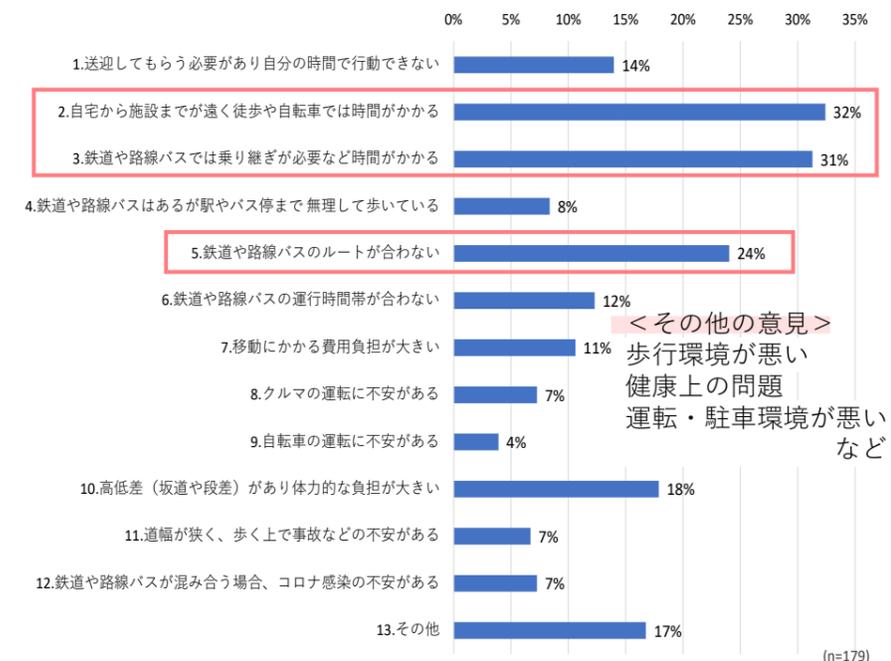


・行けない場所があると回答した人のうち、流山セントラルパーク駅、病院、商業施設に行きたいという意見が各20%ほど



◆ 移動時の問題点

・行けない場所があると回答した人の問題点は、徒歩や自転車で時間がかかる、鉄道・バスで時間がかかる、鉄道・バスのルートが合わないという回答が多い



地域の移動利便性の向上 = 「地域」が主体となり、「行政」「事業者」と連携し検討